

災害対策本部事務局運営訓練の結果について

1 目的

図上訓練を通じて、原子力災害時における情報収集事態から住民の一時移転までの流れを対応することにより、職員の対応能力の向上を図るとともに、滋賀県原子力防災初動対応マニュアル、原子力災害に係る滋賀県広域避難実施要領に定められた手順の確認および検証を行う。

2 実施日時

- ①令和6年8月26日(月) 13時00分から17時00分まで
- ②令和6年10月28日(月) 10時00分から17時00分まで

3 訓練参加人数

- ①防災危機管理局員 23人
- ②防災危機管理局員 28人 大阪府 4人 大阪府下市町 27人(20市町) 計59人

4 訓練想定

- (1) 関西電力(株)大飯発電所において事故が発生し、情報収集事態から警戒事態、施設敷地緊急事態、さらには全面緊急事態に至り、炉心損傷により放射性物質が放出。
- (2) 高島市の一部地域(UPZ内)において、空間放射線量率が0IL2の基準を超過。

5 主な訓練内容

①災害対策(警戒)本部事務局運営訓練

実施日時：令和6年8月26日(月)13時00分から17時00分まで

実施場所：危機管理センター3階オペレーションルーム

内 容：防護措置(屋内退避準備、屋内退避指示等)実施方針の決定
国、原子力事業者(関西電力)からの情報収集および情報伝達

②災害対策本部事務局運営訓練

実施日時：令和6年10月28日（月） 10時00分から17時00分

実施場所：危機管理センター3階オペレーションルーム

内 容：防護措置（一時移転指示等）実施方針の決定

一時移転先の確保（広域避難先の大阪府との調整を含む※）

国、原子力事業者（関西電力）からの情報収集および情報伝達

※ 今訓練では、大阪府下市町が初めて参加し、避難先の確保にかかる連絡調整を行った。



総務班（係）の活動



情報班（係）の活動



受援調整系の活動



班長会議



大阪府（広域避難調整先）の活動



6 今後の対応（暫定）

- (1) 訓練において明らかになった課題や改善点を基に、体制や手順などを検証。
- (2) 検証結果を今後の訓練や研修、各種マニュアルに反映し、実効性を高めていく。
- (3) 広域避難先である大阪府との連携体制を継続して構築。
(12月に大阪府と当該訓練について、分析、意見交換を実施予定)

《 福井大学 安田委員 講評 》

- ・各系のコミュニケーションが多い印象を受けた。
- ・情報係は“何を配るか”、その他の各係は“何をどう残すか”があればより良かった。
- ・ホワイトボードの使い方として、①各係用②見てもらうためのボードが良いのでは。“誰が何をしているのか”“五月雨式に入るタスク”の見える化が重要。

《 参考メモ：成果・課題（プレイヤー振り返り） 》

【成果】

- ・情報伝達の流れについて理解できた。
- ・原子力災害の事態進展の流れについて理解がすすんだ。
- ・事態進展の流れを理解したことで、一歩先を見据えた対応を心掛けることができた。
- ・昨年に引き続き大阪府と広域避難にかかる連絡調整を実施することができた。

【課題】

- ・用語の理解が不十分
 - 把握すべき知識の取捨選択
- ・会議資料作成の役割分担が不明確（連携不足）
 - 資料作成の役割分担について再検討
- ・スポット的に人員不足が発生（特に総務係）
 - 限られた人員のなかで効率的な配置を要検討
- ・ホワイトボードの活用方法
 - ホワイトボードに整理すべき内容を洗い出し